

1. ^{みな} 皆さん, ^{にほんご きょうし} こんにちは。日本語 教師のまみです。

여러분, 안녕하세요. 일본어 교사 마미입니다.

2. ^{きょう} 今日のエピソードでは, ^{えど じだい} 江戸時代の ^{ひとびと} 人々の ^く 暮らし ^{はな} について, ^{おも} お話ししてみたいと思います。

오늘 에피소드에서는 에도 시대 사람들의 생활에 대해 이야기해보려고 해요.

3. ^{みな} 皆さんは, ^{えど じだい} 江戸時代について, ^も どんなイメージを持っていますか。

여러분은 에도 시대에 대해 어떤 이미지를 가지고 계신가요?

4. ^{さむらい} 侍 ^{ふべん じだい} がたくさんいて, ちょっと不便な時代, というイメージがあるかもしれませんね。

사무라이가 많고 조금 불편했던 시대, 그런 이미지가 있을지도 모르겠네요.

5. ^{じっさい} でも, 実際 ^{しら} に調べてみると, ^{えど じだい} 江戸時代の ^{ひと} 人たちの ^く 暮らし ^{おもしろ} には, ^{くふう} 面白い工夫がたくさんあります。

하지만 실제로 조사해보면 에도 시대 사람들의 생활에는 재미있는 지혜가 많이 담겨 있어요.

6. ^{きょう}今日は, ^{なか} その中でも, ^{とく} 特に ^{おもしろ} 面白いと思う ^{おも} ポイントを, ^{しょうかい} いくつか ^{おも} 紹介したいと思います。

오늘은 그중에서도 특히 재미있다고 생각하는 포인트를 몇 가지 소개해드리려고 해요.

7. ^{さいしょ} まず ^{ながや} 最初 ^す は, "長屋" という住まいについてです。

먼저 첫 번째는 '나가야'라는 주거 형태에 대한 이야기예요.

8. ^{ながや} 長屋 ^{いっ} というのは, ^{たてももの} 一つの建物 ^{なか} の中に, ^{かぞく} いくつもの家族 ^{いっしょ} が ^す 一緒に ^{きょうどうじゅうたく} 住む, 共同 住宅 ^{おも} のことです。

나가야라는 건 하나의 건물 안에 여러 가족이 함께 사는 공동 주택을 말해요.

9. ^{いま} 今の ^{ことば} 言葉 ^い で言うと, ^い アパート ^い の ^い ような ^い ものです ^い ね。

요즘 말로 하면 아파트 같은 거예요.

10. ^{いま} でも, ^{いま} 今の ^{かべ} アパート ^{うす} よりも, ^{うす} ずっと ^{うす} 壁 ^{うす} が ^{うす} 薄くて, ^{うす} プライバシー ^{うす} という ^{うす} ものが, ^{うす} あまり ^{うす} ありません ^{うす} でした。

하지만 지금의 아파트보다 벽이 훨씬 얇아서 프라이버시라는 게 거의 없었어요.

11. となり いえ かいわ き
隣の家の会話が,そのまま聞こえてしまうことも,よくあったそうです。
옆집의 대화가 그대로 들려버리는 일도 자주 있었다고 해요.
12. ながや す hito なか よ い
だから,長屋に住む人たちは,とても仲が良かったと言われています。
그래서 나가야에 사는 사람들은 사이가 아주 좋았다고 해요.
13. しょうゆ き となり いえ か い
お醤油が切れたら,隣の家に借りに行きます。
간장이 떨어지면 옆집에 빌리러 가요.
14. だれ あか な こうたい み
誰かの赤ちゃんが泣いていたら,みんなで交代で見あげます。
누군가의 아기가 울고 있으면 다 함께 돌아가며 돌봐줘요.
15. たが さま せいしん ながや く ささ
こういう"お互い様"の精神が,長屋の暮らしを支えていました。
이런 '서로돕기' 정신이 나가야의 생활을 지탱하고 있었어요.
16. いま わたし く くら わたし おも
今の私たちの暮らしと比べると,ちょっとうらやましいかと,私は思います。
지금 우리의 생활과 비교하면 조금 부럽다고 저는 생각해요.
17. みな となり す hito なまえ し
皆さんは,隣に住んでいる人の名前を,ちゃんと知っていますか。
여러분은 옆집에 사는 사람의 이름을 제대로 알고 계신가요?
18. ながや おおや hito
長屋には,"大家"さんという人もいました。
나가야에는 '오야'라는 사람도 있었어요.
19. おおや やちん あつ す hito そうだんやく やくわり
大家さんは,家賃を集めるだけでなく,住んでいる人たちの,相談役のような役割も
も
持っていました。
오야는 집세를 걷는 것뿐만 아니라 거기 사는 사람들의 상담 상대 같은 역할도 했어요.
20. なかなお てつだ こま hito たす
けんかの仲直りを手伝ったり,困っている人を助けたりしていました。
싸움의 화해를 돕기도 하고 곤란한 사람을 도와주기도 했어요.
21. いま い かんりにん そんざい
今で言うと,ちょっとおせっかいな,マンションの管理人さんみたいな存在ですね。
요즘으로 말하면 조금 오지랖 넓은 아파트 관리인 같은 존재예요.
22. つづ ふた め こ きょういく はな
続いて,二つ目のポイントです。子どもの教育について,お話しします。
이어서 두 번째 포인트예요. 아이들의 교육에 대해 이야기해볼게요.
23. えど じだい てらごや ばしょ
江戸時代には,"寺子屋"という場所がありました。
에도 시대에는 '데라코야'라는 곳이 있었어요.

24. ^{てらごや} 寺子屋 ^{しよみん こ} というのは, ^{かよ いま しょうがっこう} 庶民の子どもたちが通う, ^{ばしよ} 今の 小学校 のような場所です。

데라코야라는 건 서민의 아이들이 다니는 지금의 초등학교 같은 곳이에요.

25. ^{てら たても の つか} お寺の建物 ^{おお} を使う ^{てらごや よ} ことが多かった ^よ ので, "寺子屋" と呼ばれるようになりました。

절의 건물을 사용하는 경우가 많아서 '데라코야'라고 불리게 되었어요.

26. ^{よ か} ここでは, ^{つか かた おし} 読み書きや, ^{おし} そろばんの使い方 ^{おし} を, ^{おし} 教えてもらえました。

여기서는 읽고 쓰는 법과 주판 사용법을 배울 수 있었어요.

27. ^{せんせい} 先生 ^{ししやう よ} のことは, "師匠" ^よ と呼んでいた ^よ そうです。

선생님을 '시쇼'(스승님)라고 불렀다고 해요.

28. ^{おもしろ} 面白い ^{えど じだい にほんじん しきじりつ} のは, ^{せかい なか} 江戸時代の日本人 ^{たか} の識字率 ^{たか} が, ^{たか} 世界の中でも ^{たか} かなり高かった ^{たか} という ^{たか} こと ^{たか} ですよ。

흥미로운 점은 에도 시대 일본인의 문자 해독률이 세계에서도 상당히 높았다는 거예요.

29. ^{てらごや そんざい おお} これには, ^{かんけい} 寺子屋の存在 ^い が, ^い 大きく ^い 関係 ^い している ^い と ^い 言 ^い わ ^い れ ^い て ^い います。

여기에는 데라코야의 존재가 크게 관련되어 있다고 해요.

30. ^{かんこく} 韓国 ^{むかし しょうどう} にも, ^に 昔 ^{まな} "書 堂" ^{ばしよ} という, ^{まな} 似た ^{まな} よう ^{まな} な ^{まな} 学 ^{まな} び ^{まな} の ^{まな} 場 ^{まな} 所 ^{まな} が ^{まな} あ ^{まな} り ^{まな} ま ^{まな} した ^{まな} よ ^{まな} ね。

한국에도 옛날에 '서당'이라는 비슷한 배움의 장소가 있었죠.

31. ^こ 子ども ^{あつ} たちが ^{もじ きやうよう まな} 集 ^{いみ} ま ^に っ ^に て, ^{いみ} 文字 ^に や ^に 教 ^に 養 ^に を ^に 学 ^に ぶ ^に と ^に い ^に う ^に 意 ^に 味 ^に では, ^に ど ^に こ ^に か ^に 似 ^に て ^に い ^に る ^に と ^に こ ^に ろ ^に が ^に あ ^に る ^に と ^に お ^に も ^に い ^に ます。

아이들이 모여서 글자와 교양을 배운다는 의미에서는 어딘가 비슷한 부분이 있는 것 같아요.

32. ^{わたし いま にほんご おし} ちなみに, ^{てらごや ししやう} 私 ^{ししやう} も ^{ししやう} 今 ^{ししやう}, ^{ししやう} 日本 ^{ししやう} 語 ^{ししやう} を ^{ししやう} 教 ^{ししやう} えて ^{ししやう} います。 ^{ししやう} 寺 ^{ししやう} 子 ^{ししやう} 屋 ^{ししやう} の ^{ししやう} 師 ^{ししやう} 匠 ^{ししやう}, ^{ししやう} と ^{ししやう} ま ^{ししやう} で ^{ししやう} は ^{ししやう} い ^{ししやう} き ^{ししやう} ま ^{ししやう} せ ^{ししやう} ん ^{ししやう} が

참고로 저도 지금 일본어를 가르치고 있어요. 데라코야의 스승님까지는 아니지만

33. ^{たいけんじゅぎやう} オンライン ^{さんか} の ^{さんか} ス ^{さんか} ク ^{さんか} ル ^{さんか} を ^{さんか} や ^{さんか} っ ^{さんか} て ^{さんか} い ^{さんか} て, ^{さんか} ま ^{さんか} ず ^{さんか} は ^{さんか} 体 ^{さんか} 験 ^{さんか} から ^{さんか} 参 ^{さんか} 加 ^{さんか} で ^{さんか} き ^{さんか} ます。

온라인 스쿨을 운영하고 있는데 우선 체험 수업부터 참여하실 수 있어요.

34. ^{えど じだい こ} 江戸 ^{いっしよ たの まな} 時代 ^{いっしよ} の ^{いっしよ} 子 ^{いっしよ} ども ^{いっしよ} たち ^{いっしよ} の ^{いっしよ} よ ^{いっしよ} う ^{いっしよ} に, ^{いっしよ} 一 ^{いっしよ} 緒 ^{いっしよ} に ^{いっしよ} 楽 ^{いっしよ} し ^{いっしよ} く ^{いっしよ} 学 ^{いっしよ} べ ^{いっしよ} た ^{いっしよ} ら ^{いっしよ} う ^{いっしよ} れ ^{いっしよ} い ^{いっしよ} ず ^{いっしよ} です。

에도 시대 아이들처럼 함께 즐겁게 배울 수 있다면 좋겠어요.

35. ^き 気 ^{かた} に ^{がいようらん} な ^{がいようらん} る ^{がいようらん} 方 ^{がいようらん} は, ^{がいようらん} 概 ^{がいようらん} 要 ^{がいようらん} 欄 ^{がいようらん} の ^{がいようらん} リ ^{がいようらん} ン ^{がいようらん} ク ^{がいようらん} か ^{がいようらん} ら ^{がいようらん} チ ^{がいようらん} ェ ^{がいようらん} ッ ^{がいようらん} ク ^{がいようらん} し ^{がいようらん} て ^{がいようらん} み ^{がいようらん} て ^{がいようらん} く ^{がいようらん} だ ^{がいようらん} さ ^{がいようらん} い ^{がいようらん} ね。

궁금하신 분은 설명란의 링크에서 확인해보세요.

36. ^{みつ め} さて, ^{さんきんこうたい} 三 ^{しく} つ ^{しく} 目 ^{しく} の ^{しく} ポ ^{しく} イ ^{しく} ン ^{しく} ト ^{しく} です。 " 参 ^{しく} 勤 ^{しく} 交 ^{しく} 代 ^{しく} " ^{しく} と ^{しく} い ^{しく} う ^{しく} 仕 ^{しく} 組 ^{しく} み ^{しく} です。

자, 세 번째 포인트예요. '산킨코타이'라는 제도예요.

49. それでも着^きられなくなったら, 布団^{ふとん}の中^{なか}に入^いれたり, おむつ^かに変^かえたりしました。

그래도 못 입게 되면 이불 속에 넣거나 기저귀로 바꾸기도 했어요.

50. さらに面白^{おもしろ}いのが, 燃^もえたあとの灰^{はい}まで, 買^かいに來^くる 商^{しょう}売^{ばい}があつたことです。

더 재미있는 건 다 타고 남은 재까지 사러 오는 장사가 있었다는 거예요.

51. "灰^{はい} 買^かい" と呼^よばれる人^{ひと}たちが, 各^{かく} 家^か庭^{てい}の灰^{はい}を 集^{あつ}めて, 肥^{ひりょう}料^{せんざい}や 洗^{ざいりょう}剤^うの 材^{ざい}料^{りょう} として 売^うつていたそうです。

'재 장수'라고 불리는 사람들이 각 가정의 재를 모아서 비료나 세제의 재료로 팔았다고 해요.

52. 一^{いっ}つ^もの物^{もの}が, 最^{さい}後^ごの最^{さい}後^ごまで, 何^{なに}か^{やく}の役^たに 立^たつよう^{つか}に 使^{つか}われていたんですね。

하나의 물건이 마지막의 마지막까지 무언가에 도움이 되도록 쓰였던 거예요.

53. 今^{いま}, 世^せ界^{かい}中^{じゅう} で "エコ" や "サステナブル" という言^{こと}ば^ばが, よく 使^{つか}われていますが, 江^え戸^ど 時^じ代^{だい}の暮^くら^{さい}し^{せん}は, その 最^{さい}先^{せん}端^{たん} だつたの^たか^もし^れま^せん。

지금 전 세계에서 '친환경'이나 '지속 가능'이라는 말이 자주 쓰이고 있는데 에도 시대의 생활이야말로 그 최첨단이 었을지도 몰라요.

54. 最^{さい}後^ごに, 娛^{ごらく}楽^{すこ}につい^{しょう}ても 少^{しょう}し 紹^{しょう}介^{かい} します。

마지막으로 오락에 대해서도 조금 소개할게요.

55. 江^え戸^ど 時^じ代^{だい}の庶^{しょ}民^민にとつて, 一^{いち}番^{ばん}の樂^{たの}しみと 言^いえ^ば, "歌^か舞^ぶ伎^き" でした。

에도 시대 서민들에게 가장 큰 즐거움이라고 하면 '가부키'였어요.

56. 歌^か舞^ぶ伎^きは, 派^は手^てな 衣^い装^{しょう}や 化^け粧^{しょう}で, 物^{もの}語^がを 演^{えん}じ^る 伝^{でん}統^{とう} 芸^{げい}能^{のう} です。

가부키는 화려한 의상과 화장으로 이야기를 연기하는 전통 예능이에요.

57. チケッ^ちケッ^けトは, 今^{いま}より^みも 身^み近^{ぢか}な 料^{りょう}金^{きん} で 樂^{たの}し^めた^いと 言^いわ^れて^いま^す。

티켓은 지금보다 부담 없는 가격으로 즐길 수 있었다고 해요.

58. それから, "寄^よ席^{せき}" という場^ば所^{しょ}もあり^あり^まし^た。

그리고 '요세'라는 곳도 있었어요.

59. 寄^よ席^{せき}では, 落^{らく}語^ご家^かが 面^{おもしろ}白^{はな}い 話^{はなし} を し^したり, 手^て品^{じな}を 見^みせ^せたり^して^いま^した。

요세에서는 라쿠고가(만담가)가 재미있는 이야기를 하거나 마술을 보여주기도 했어요.

60. 今^{いま}の 日^に本^{ほん}にも, 寄^よ席^{せき}は 残^{のこ}って^いて, 今^{いま}でも 落^{らく}語^ごを 樂^{たの}し^むこ^とが^でき^ます。

지금의 일본에도 요세는 남아 있어서 지금도 라쿠고를 즐길 수 있어요.

61. それから, 食^たべ^{もの}物^{もの}につい^{おもしろ}ても, ち^{はな}よ^しと 面^{はな}白^しい 話^{はなし} があ^あり^ます。

그리고 음식에 대해서도 조금 재미있는 이야기가 있어요.

62. ^{いま こうきゅう}今では ^{すし てん}高級 なイメージがある, ^{じつ えど じだい}お寿司や天ぷらですが, ^{しょみん}実は江戸時代には, 庶民のファストフードでした。

지금은 고급스러운 이미지가 있는 초밥이나 덴푸라지만 사실 에도 시대에는 서민들의 패스트푸드였어요.

63. ^{みちばた やたい た}道端の屋台で, ^た立ったまま, さっと食べるものだったんです。

길거리 포장마차에서 선 채로 후딱 먹는 음식이었어요.

64. ^{にぎ すし いま おお}握り寿司も, ^{ひとくち}今よりずっと大きくて, ^た一口で ^{きがる た もの}ぱくっと食べられる, 気軽な食べ物だったそうです。

니기리즈시도 지금보다 훨씬 크고 한입에 덩석 먹을 수 있는 부담 없는 음식이었다고 해요.

65. ^{おな}そばも同じように, ^{やたい た}屋台でさっと食べられる, ^{にんき}人気のメニューでした。

소바도 마찬가지로 포장마차에서 후딱 먹을 수 있는 인기 메뉴였어요.

66. ^{いそが えど こ}忙しい江戸っ子たちは, ^{やたい}屋台でそばをすすって, ^{しごと もど}また仕事に戻っていたと言われていま

바쁜 '에dot코'(에도 토박이)들은 포장마차에서 소바를 후루룩 먹고 다시 일하러 돌아갔다고 해요.

67. ^{いま}今のファストフード文化と, ^{ぶんか}どこか似ている気がしませんか。

지금의 패스트푸드 문화와 어딘가 비슷한 느낌이 들지 않나요?

68. ^{わたし はなし し}私は, ^{えど じだい}この話を知ったとき, 江戸時代のイメージが, ^{すこ か}少し変わりました。

저는 이 이야기를 알았을 때 에도 시대에 대한 이미지가 조금 바뀌었어요.

69. ^{いっ わたし おもしろ おも}もう一つ, ^{じかん かん かた}私が面白いと思うのは, 時間の感じ方です。

하나 더, 제가 재미있다고 생각하는 건 시간을 느끼는 방식이에요.

70. ^{えど じだい}江戸時代には, ^{いま}もちろん今のような時計は, ^{とけい}ほとんどありませんでした。

에도 시대에는 당연히 지금 같은 시계는 거의 없었어요.

71. ^{ひとびと}だから, ^{てら かね おと き}人々は, ^{じかん し}お寺の鐘の音を聞いて, 時間を知っていました。

그래서 사람들은 절의 종소리를 듣고 시간을 알았어요.

72. ^{あ むつ く むつ}"明け六つ"や"暮れ六つ"のように, ^{たいよう うご あ}太陽の動きに合わせて, ^{じかん わ}時間を分けていたそうです。

'아케무쓰'(새벽 여섯 시)나 '구레무쓰'(해질녘 여섯 시)처럼 태양의 움직임에 맞춰 시간을 나누었다고 해요.

73. ^{いま}今のように, ^{いちぶんいちびょう き く}一分一秒を気にする暮らしではなくて, ^{じかん かん}もっとゆったりした時間の感じ方だったんですね。

지금처럼 1분 1초를 신경 쓰는 생활이 아니라 훨씬 여유로운 시간의 흐름이었던 거예요.

74. ^{みな}皆さんは、^{えど じだい}江戸時代の^くこんな暮らし、^{おも}どう思いますか。

여러분은 에도 시대의 이런 생활 어떻게 생각하세요?

75. ^{ながや}長屋の^{ひとづ}人付き^あ合いや、^{せいしん}もったいない精神、^{たいけん}タイムスリップして^{おも}体験してみたいと思いますか。

나가야에서의 사람 사귄이나 못타이나이 정신, 타임슬립해서 직접 체험해보고 싶으신가요?

76. それとも、やっぱり今の便利な暮らしの方がいいと思いますか。

아니면 역시 지금의 편리한 생활이 더 좋다고 생각하시나요?

77. ぜひ、コメントで^{おし}教えてください。

꼭 댓글로 알려주세요.

78. ^{じつ わたし} 実は私 ^{えど} も、江戸 ^{とうきょうはくぶつかん} 東京 博物館 ^{ばしょ} のような場所 ^い に行く ^{なが} と、つい ^{じかん} 長い時間 ^{みい} , 見入 ^ま っ ^て て ^{しま} います。

사실 저도 에도도쿄박물관 같은 곳에 가면 저도 모르게 오랫동안 넋을 놓고 보게 돼요.

79. ^{ながや}長屋の^{もけい}模型や、^{とうじ}当時の^{どうぐ}道具を^み見ていると、^{もの}物が^{すく}少ないから ^{いっ いっ}こそ、^{だいじ}一つ一つを大事にして
いたんだなと^{かん}感じます。

나가야의 모형이나 당시의 도구를 보고 있으면 물건이 적었기 때문에 오히려 하나하나를 소중히 여겼구나 하는 생각이 들어요.

80. べんり いま く す えど じだい ひと もの だいじ
 便利な今の暮らしも好きですが、たまには江戸時代の人たちのように、物を大事にす
 きも おも だ おも
 る気持ちを、思い出したいなと思います。

편리한 지금의 생활도 좋아하지만 가끔은 에도 시대 사람들처럼 물건을 소중히 여기는 마음을 떠올리고 싶다고 생각합니다.

81. はい。今日のエピソードは、ここまでです。

네, 오늘 에피소드는 여기까지예요.

82. えど じだい ひとびと く たの 江戸時代の人々の暮らしについて、楽しんでもらえましたか。

에도 시대 사람들의 생활에 대해 재미있게 들으셨나요?

83. ^{ながや}長屋, ^{てらごや}寺子屋, ^{さんきんこうたい}参勤交代, ^{せいしん}もったいない精神, ^{ごらく}そして ^{きょう}娯楽について, ^{はな}今日はお話しました。

나가야, 데라코야, 산킨코타이, 못타이나이 정신, 그리고 오락에 대해 오늘 이야기해봤어요.

84. ^{すこ}少し^{ふべん}不便^みそうに見えても、^{くふう}工夫^{ちえ}と知恵^{じだい}にあふれた時代だったんですね。

조금 불편해 보여도 지혜와 궁리로 가득했던 시대였던 거예요.

85. きょう さいご き
今日も最後まで聞いてくれて, ありがとうございます。

오늘도 끝까지 들어주셔서 감사합니다.

86. つぎ あ つか さま
次のエピソードでも, また会いましょう。 お疲れ様でした!

다음 에피소드에서도 또 만나요. 수고하셨습니다 !
